

事務事業 No./名称	■サービス部門 こども-23 子ども会館・子どもの家管理運営事業 □支援部門							
主管課	青少年課	関連課	こどもみらい課					
分野名	青少年育成							
目標 (目標値)	市内各小学校区にそれぞれ1箇所ずつ子ども会館・子どもの家を整備する(子ども会館・子どもの家各16箇所)							
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考			
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯				
	事業の対象者数	22,822人	22,475人	22,780人				
運営資源状況	決算値(千円)	204,870	205,456	201,364				
	(国・県)	33,234	34,920	33,056				
	(負担金等)	45,313	45,148	42,669				
	(一般財源)	126,323	125,388	125,639				
	人員配置数	2.9	2.8	2.9				
	人件費(千円)	27,203	26,220	28,364				
	協働のパートナー	NPO法人輝き・遊っこ・楽っこ	NPO法人輝き・遊っこ・楽っこ	NPO法人輝き・遊っこ・楽っこ				
事務事業運営経費	総事業費(千円)	232,073	231,676	229,728				
	市民1人当りの経費(円)	1,310	1,308	1,300				
	対象者1人当りの経費(円)	10,169	10,308	10,085				
	ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)	
各小学校区での小学校への距離と子ども会館未設置の解消など子ども会館・子どもの家の適正な整備	△	目標値	16施設	16施設	16施設	16施設	16施設	
		実績値	9施設	9施設	10施設			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退								

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
子ども会館・子どもの家管理運営事業	204,870千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	市内16小学校区すべてに、放課後児童健全育成事業として子どもの家を開設し、入所している児童に対して家庭的な生活時間を提供している。また、子ども会館では、地域の0歳児から中学生までに適切な遊びの場を提供している。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会館・子どもの家の持続可能な運営体制について検討する必要がある。 子どもの家の運営指針の作成を保護者とともに進める必要がある。 入所児童数の増加に伴う増床や小学校から距離のある子どもの家の整備が課題となっている。
課題解決のための取組	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの家運営指針の策定のため、保護者から意見を聴取した。 深沢小学校内の余裕教室を活用したふかさわ子どもの家について、児童数の増加に対応するため、1教室増設するための準備を進めた。 おなり子どもの家の移転に伴う子どもの家条例の改正をした。 梶原子ども会館における市民協働事業実施に向け、方針の決定及び準備をした。
未解決の課題	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会館・子どもの家の持続可能な運営体制について検討する必要がある。 子どもの家運営指針を策定する必要がある。 入所児童数の増加に対応するため、ふかさわ子どもの家を1教室増設する必要がある。 入所児童数の増加に対応するため、やまさき子ども会館・子どもの家を増築する必要がある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		↓	課長等名
		③有効性 ○		A	青少年課長
		④公平性 ○			能條 裕子

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名		個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
子ども会館・子どもの家管理運営事業	主な個別事業	1309 こども育成専任指導員報酬	63,204	61,341	■適切	□見直し余地あり
		1309 こども育成指導員報酬	95,790	93,507	■適切	□見直し余地あり
		1309 事務補助嘱託員報酬	1,028	1,028	■適切	□見直し余地あり
		1309 夏期及び障害児対応アルバイト賃金	9,865	9,222	■適切	□見直し余地あり
		1309 子ども会館・子どもの家消耗品費	7,456	6,815	■適切	□見直し余地あり
		1309 子ども会館・子どもの家光熱水費	6,196	5,805	■適切	□見直し余地あり
		1309 子ども会館・子どもの家修繕料	7,004	6,998	■適切	□見直し余地あり
		1309・1312 機械警備委託料	1,182	1,137	■適切	□見直し余地あり
		1309 子どもの家利用料徴収システム機能強化委託料	534	534	■適切	□見直し余地あり
		1309 軽作業委託料	326	271	■適切	□見直し余地あり
		1309 子どもの家利用料徴収システム保守委託料	158	158	■適切	□見直し余地あり
		1309 備品等廃棄物収集運搬処分等委託料	426	349	■適切	□見直し余地あり
		1312 子どもの家賃借料(第一小学校区分)	2,670	2,670	■適切	□見直し余地あり
		1309 子ども会館・子どもの家備品購入費	695	651	■適切	□見直し余地あり
		1309 深沢子ども会館運営事業負担金	2,987	2,987	■適切	□見直し余地あり
		1312 だいいち子どもの家光熱水費負担金	576	518	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり